

一関市におけるデマンド型乗合タクシーの導入について（舞川地区の事例）



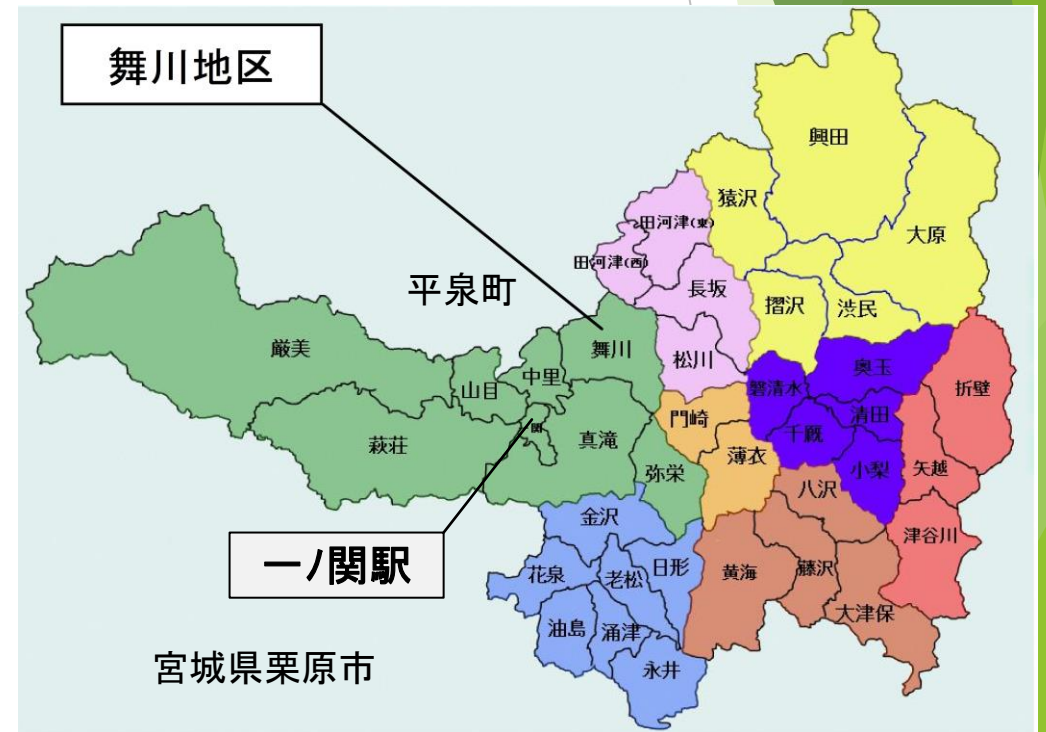
平成29年9月25日
一関市 まちづくり推進部
まちづくり推進課 熊谷 優

デマンド型乗合タクシー導入経過

一関市舞川地区の特徴

(1)地理

- 市中心市街地の北西部に位置。
地区の面積は約30平方km
- 一ノ関駅から舞川地域の中心部
までは約10km（車で約20分）
- 北上山系に属し、一部を除き、
ほとんどが丘陵地で、民家は点在



デマンド型乗合タクシー導入経過

一関市舞川地区の特徴

(2)人口、年齢構成（H27.3.31）

- 人口 2,673人、世帯数 857世帯
- 65歳以上の割合 は37.3%



(3)交通環境（H27.3.31 デマンド型乗合タクシー運行前）

- 民間路線バス（岩手県交通）が地域内北部の県道を運行
- なの花バス（コミュニティバス）が地域内南部の県道、市道を運行。週2回、1日2往復。

デマンド型乗合タクシー導入経過

舞川地区における、なの花バス運行見直しの必要性

1. なの花バス（舞川地区の路線）の利用者が減少

	H24	H25	H26
利用者(人)	796	617	476

なの花バス全9路線の中で、最も平均乗車率が低い路線。平成25年度の平均乗車密度は0.49人。

2. 舞川地区が抱える課題

- 高齢化の進展、坂も多くバス停までの歩行が困難な高齢者が増加。
- 民家が点在し、路線バスでカバーするには、長大な路線となる。

デマンド型乗合タクシー導入経過

舞川地域における公共交通の再編・課題への対応

一関市地域公共交通総合連携計画（平成26年2月策定）



目的：持続可能なバス公共交通体系の実現を目指す



計画：「舞川地区はなの花バスに替えてデマンドタクシーでの運行に変更する」ことを地域計画に盛り込む

具体的な取組：地域公共交通活性化推進事業費補助（県単補助）を活用し、試験運行を実施

平成26年度 モデル地区（舞川地区）を指定

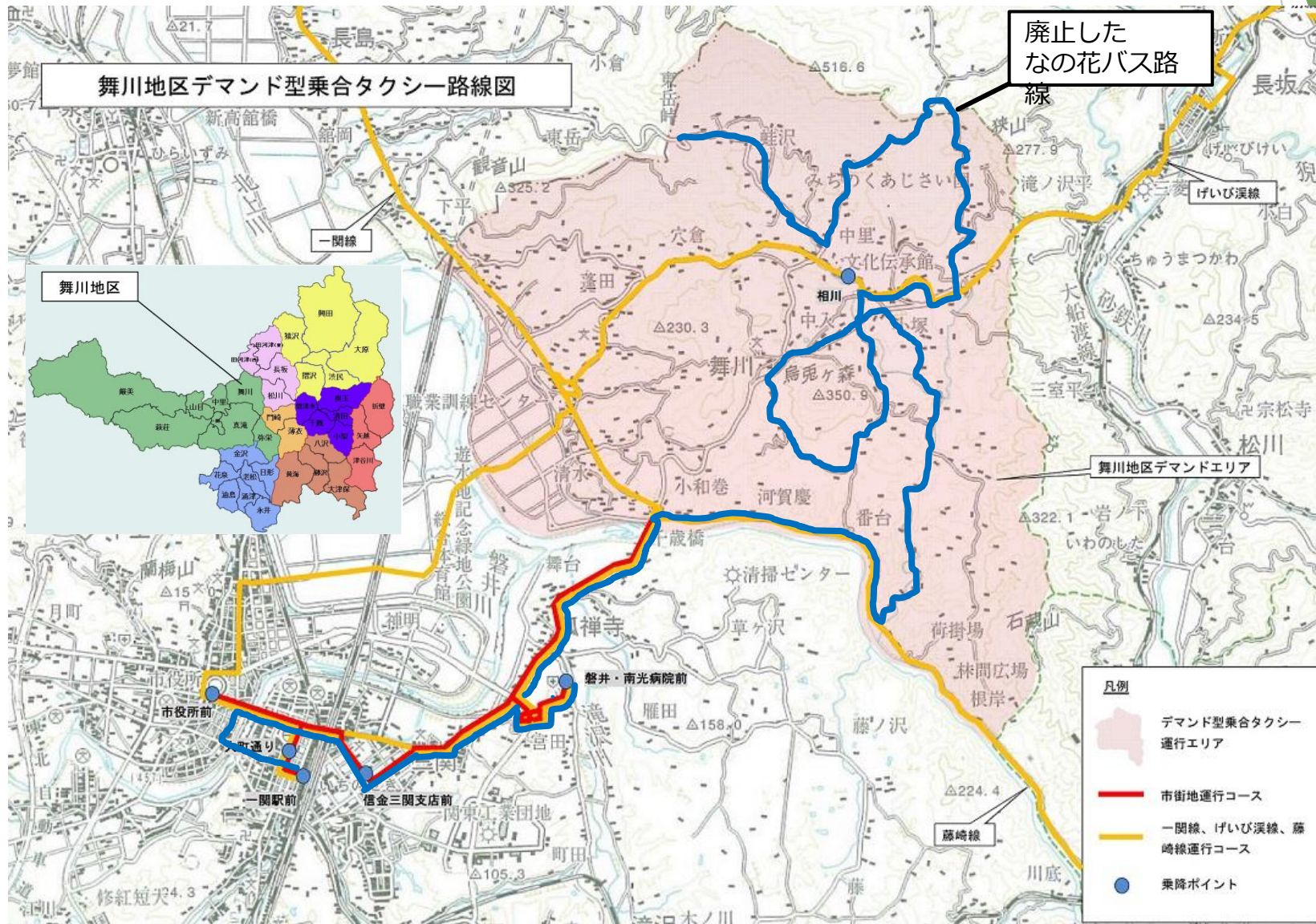
平成27年度 試験運行を実施し、地域需要を調査

デマンド型乗合タクシーの運行について

区分	内容
運行事業者	一関地区タクシー業協同組合（4業者）
運行エリア	舞川地区～一関市街地
運行方式	舞川地区内は自宅付近で乗降 市街地は路線運行（バス停のみで乗降）
車両サイズ	セダン型タクシー or ジャンボタクシー
運行回数	週2回（平日）、1日3往復
利用対象者	舞川地区在住者（登録制）
利用運賃	均一運賃 大人1乗車300円
予約期限	利用前日まで
オペレーター	新たなシステム導入は行わず、タクシー業協同組合事務員が対応

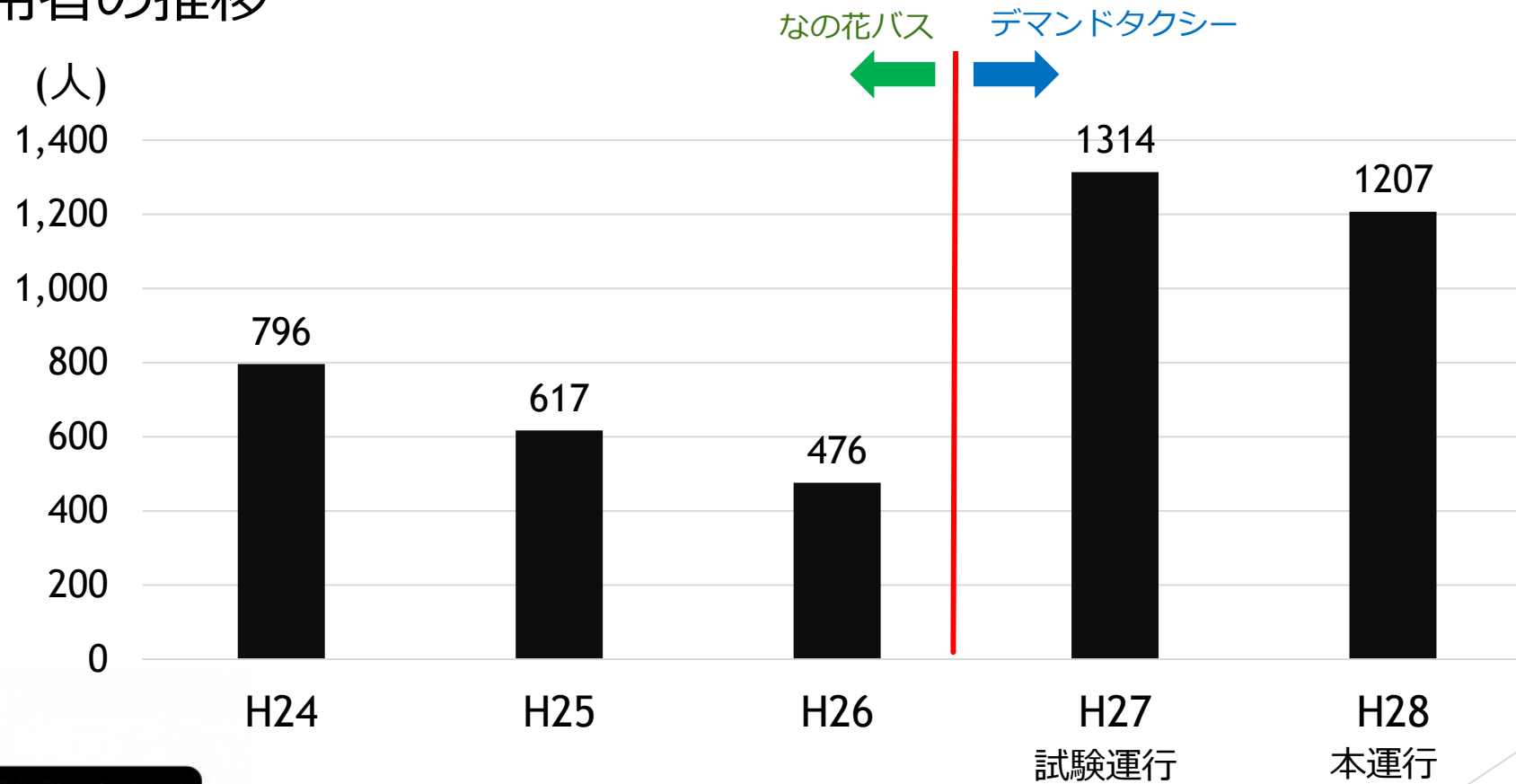


デマンド型乗合タクシーの運行について



デマンド型乗合タクシーの運行について

利用者の推移



デマンド型乗合タクシーの運行について

利用者の声

- 自宅まで迎えに来てくれるので、歩かなくて済む。
- 買い物で帰りの荷物が多くなっても心配がない。
- 一関市街地での乗降場所を増やしてほしい。
- 運行日、回数を増やしてほしい。



デマンド型乗合タクシーの課題など

課題事項、今後の見込み

- デマンド型乗合タクシー事業の周知、PR不足
舞川地区の登録世帯数 382世帯/858世帯（44.5%）
- 予約期限の見直し
現在は前日までの予約 → 当日の利用希望に対応できない
- 運行事業者の意欲向上
現在は赤字欠損補助 → 自助努力が働かない
（インセンティブ契約など検討）

デマンド型乗合タクシーの課題など

課題事項、今後の見込み

- 市内の他地域からもデマンド型乗合タクシー導入要望が増加
市の財政負担が増加 → 地域の実情により優先度を付けて検討
- 運行の適切な見直し
運行日、回数、コース、など利用者需要と地域をとりまく環境の変化に対応し、適切な見直しを図る。



地域公共交通網形成計画を策定する中で検討を進めていく。